

濟生会総裁・秋篠宮皇嗣殿下ご一家から手づくりガウンをいただきました。

新型コロナウイルス感染症に対応する病院で役立てて、と秋篠宮皇嗣殿下ご一家5方と宮内庁職員が手づくりされた医療用ガウンを全国の濟生会施設に賜り、6月に当院にも届きました。

市販のビニール袋を加工されたもので、全国の濟生会病院に合計 900 着が届けられました。中には医療従事者への応援と感謝の言葉がつづられた手書きのメッセージが添えられていました。

濟生会本部によりますと、ご一家のガウンづくりは5月11日、総裁に濟生会各病院の新型コロナへの対応をご説明するテレビ会議がきっかけで、皇嗣同妃両殿下が、医療現場で防護服が不足し、都内にある濟生会中央病院では職員がごみ袋を加工してしのいでいるとの説明に憂慮され、作り方にもご興味を示されたため、同院より“設計図”をメールでお送りしたとのことでした。

いただいたお言葉の数々と一生懸命作られたガウンに、職員一同勇気をいただきました。





応援しています



治療の最中だけでも
奮闘して頑張るの感謝
いたします。皆様への声援
のおかげで命が助かりました。
これからも貴方の声援が
支えとなります。

がんばって
ください!!

